

若草幼稚園幼年消防クラブ

茨城県常陸大宮市 認定こども園
若草幼稚園 園長 壺井 燈子



若草幼稚園幼年消防クラブは、昭和59年（1984年）9月に発会してから現在まで38年間活動しています。これまで色々な活動をしてきましたが、最近の主な活動について紹介いたします。

6月、消防士さん立会いのもと避難訓練を行います。避難の仕方など色々なアドバイスをいただいたり、正しい花火のやり方を教えていただいています。家庭で花火をする機会が減った園児たちにとっては、正しい火の扱い方を知る貴重な機会です。

春と秋の全国火災予防運動期間中は、法被を着て登園します。法被を着ることで、園児たちなりに気が引き締まるようです。

12月に行う防火もちつき大会で、消防士さんと一緒に、臼と杵でのもちつきをするのを、園児たちは楽しみにしています。もちつきの後、消防車やレスキュー車を見学し、実際に大きなホースを持たせていただいたりヘルメットをかぶせていた

いたり、楽しい時間を過ごします。

また園としましては、『茨城県幼年少年婦人防火大会』に、マーチング演奏で参加させていただいたのもよい経験となっています。

これからも、園児たちの防火意識を高め保護者を巻き込んだ活動ができるよう、頑張りたいと思います。



砺波市出町少年消防クラブ

富山県砺波市出町少年消防クラブ
リーダー 磯邊 友美



砺波市出町少年消防クラブは、昭和46年7月19日に結成されました。クラブ活動を通じて防火・防災の正しい知識と技術を習得し、生命と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、防火啓発活動を行うことで家庭や地域の防火・防災意識の高揚を図り、将来の地域防災の担い手となる人材育成を図ることを目的としています。

当少年消防クラブの活動は、小学校の5、6年生の全児童が入隊しており、小学校を卒業するまでクラブ員として活動します。

主な活動として、秋季全国火災予防運動期間中に市の中心市街地において防火パレードを行っています。クラブ員は、防火標語を記載したプラカードを先頭に、小学校の管楽器クラブに所属するクラブ員が演奏する中、拍子木を打ちながら「火の用心」と声をそろえ、火災予防を呼び掛けています。

その他にも、昼食時や放課後を利用して防火

に関する校内放送、消防出初式への参加、防火ポスターの作成、夏休み中の夏期研修など、年間を通じた活動を実施しています。

令和4年の夏期研修においては、火災予防の普及啓発をテーマに研究し、そこで学んだ住宅用火災警報器の効果や消火器の取り扱い方法を学校や家庭で広めた他、駅や市内の店舗で防火ステッカーを配布しました。この活動を富山県小学生火災予防研究発表大会で発表し、銅賞を受賞しました。

